

シルバー やまがた

第144号 令和3年10月1日発行

(公社)山形市シルバー人材センター
正会員数1,209名 賛助会員 35個人・66団体(8月末現在)



秋景山寺 (広報部撮影)

— 内容紹介 —

- | | | | |
|----|--------------------------------|------|---------------------------|
| P2 | 令和3年度 安全就業標語入選発表 安全パトロールの実施 | P5 | 人あり・技あり・心あり 地域紹介 わが街通信 |
| P3 | 新任役員のご紹介 事業普及啓発促進月間 | P6~7 | 会員のひろば |
| P4 | 女性部会だより センター活動状況 | P8~9 | 就業会員を訪ねて 新入会員紹介 |
| | | P10 | 事務局だより |

ホームページでもご覧いただけます。

山形市シルバー人材センター

検索

令和3年度 安全就業標語入選作発表

安全就業標語入選作

| | | |
|--------------|---|---|
| 👑 最優秀 | 「事故0」は 一人一人の 意識から！ | (南沼原地区 加藤 裕) |
| 👑 優 秀 | 事故防止 慣れた仕事も 油断せず 安全は すべてに優先 あせらずに | (滝山1地区 安達 康裕) (第1地区 佐藤 幸夫) |
| 👑 佳 作 | 無事故から 仲間も家族も 皆笑顔 慣れた作業に 見落とす危険 初心忘れず安全作業 安全は 一つひとつの 積み重ね 慌てない ゆとりの一息 身を守る ウィズコロナ 三密避けて 安全就業 見逃すな！気のゆるみと慣れが 事故のもと | (西地区 大久保 健) (西地区 樋口 健一) (東沢地区 板垣源太郎) (第6地区 伊東 義雄) (第6地区 佐藤 明) (金井地区 山口 重雄) |

安全就業推進委員会では、平成二十八年
度より「事故0」を目標に事故防止活動に
取り組んでおります。例年七月に展開され
る「全国安全・適正就業強化月間」に合わ
せ、今年度も会員皆さんの安全意識高揚の
ため、安全標語の募集を行いました。
今年度は、五十八名・合計一五二編の応
募をいただきました。ご応募いただいた会
員の皆さま、誠にありがとうございました。
厳正なる審査の結果、上記九名の標語を入
選作品として選考いたしました。新型コロナ
ウイルス感染症の状況は全国的に厳しい
ものがあり、昨年度に引き続き、安全講習
会は開催を断念せざるを得ませんでした。が、
受賞者の皆様へ表彰状の贈呈を行いました。
皆様へは入選者・入選作品を紙面にてご紹
介いたします。
なお、上記入
選作品九編に
次点の作品
十六編を追加
した計二十五
編を、山形県
シルバー人材
センター安全
標語の推薦作
品とさせてい
ただきます。



受賞者の皆さん

安全就業推進委員会では、平成二十八年
度より「事故0」を目標に事故防止活動に
取り組んでおります。例年七月に展開され
る「全国安全・適正就業強化月間」に合わ
せ、今年度も会員皆さんの安全意識高揚の
ため、安全標語の募集を行いました。
今年度は、五十八名・合計一五二編の応
募をいただきました。ご応募いただいた会
員の皆さま、誠にありがとうございました。
厳正なる審査の結果、上記九名の標語を入
選作品として選考いたしました。新型コロナ
ウイルス感染症の状況は全国的に厳しい
ものがあり、昨年度に引き続き、安全講習
会は開催を断念せざるを得ませんでした。が、
受賞者の皆様へ表彰状の贈呈を行いました。
皆様へは入選者・入選作品を紙面にてご紹
介いたします。
なお、上記入
選作品九編に
次点の作品
十六編を追加
した計二十五
編を、山形県
シルバー人材
センター安全
標語の推薦作
品とさせてい
ただきます。



剪定班への安全パトロール

安全就業推進委員会では、毎年七月に
「安全・適正就業強化月間」の活動として
「安全パトロール」を実施しています。夏
期は、屋外作業を中心に熱中症の危険が高
まることもあり、除草や草刈り、剪定など
屋外作業の九か所をパトロールしました。
就業中の会員さんへ、安全保護具の着用徹
底や緊急連絡カードの携帯確認を行い、コ
ロナ禍での熱中症予防についても周知を行
いました。パトロールの結果、就業会員の
皆さんはしっかりと安全対策を講じたうえ
で就業されていきました。また、ハチなどに
よる虫刺されにも十分留意して作業に当
たっていました。

安全パトロールを実施しました

新任役員のご紹介

今年度、シルバー会員より4名の役員が新たに選出されました。
今回は、その新任役員の皆様から、①抱負②就業内容③趣味についてお伺いしました。



理事
平山 尚

- ①シルバー会員の楽しみや生きがい充実の為に、会員の一人として一翼を担ってまいります。
- ②商品陳列業務
- ③趣味は特にありませんが、日々健康で楽しく、常に向上心を持って暮らしたいと思っています。



理事
土田 トク子

- ①聞きなれない内容に戸惑う日々ですが、理事としてのコンプライアンスの意味を深め、ご指導をいただきながら務めて参りたいと思います。
- ②受付業務（温泉）
- ③心身ともに健康であることを大切にしています。



理事
高橋 眞一

- ①会員の方の生きがいの充実などに少しでも力になれるように頑張るつもりです。
- ②駐車場管理業務
- ③年々気力・体力が衰えてきていることから、無理をせずストレス解消とメタボ予防のため散歩しております。



監事
安食 仁

- ①現役時代の職務等を思い出しなが、適正に法令順守に従い処理されているか検証に努めたい。
- ②施設（駐車場）管理業務
- ③体力健康維持の為、定期的に、近くの公民館で数人と卓球及びゴルフ等をしています。また、野菜作りにも精を出しています。

② 会員と市民が交流するシルバークラブ等の開催
 会員互助会文化祭にて作品・活動パネル等展示
 十月二十八日（木）～三十日

山形南
 店・北店
 でチラシ
 配布）



文化祭にて

① ポスター、リーフレット等を活用した役員、会員による普及活動及び加入の働きかけの実施
 山形市の公民館やコミュニティセンター等に依頼、リーフレットを配置して入会の勧誘や仕事の依頼を周知

③ 役員、会員によるボランティア活動等の社会奉仕活動の実施
 女性部会が、市菅笠確保対策連絡会の、花笠製作に参加
 ④ マスメディアに対する報道の働きかけ
 普及啓発活動内容等の山形市役所市政記者クラブへの情報提供
 尚、次の事業については、中止とさせていただきます。
 ◎会員による街路清掃活動他、地区研修会場等の清掃等社会奉仕活動の実施

二 事業の実施内容
 ① 事業実施期間
 十月一日（金）から
 十月三十一日（日）

（土）…山形テルサー一階
 ③ 役員、会員によるボランティア活動等の社会奉仕活動の実施
 女性部会が、市菅笠確保対策連絡会の、花笠製作に参加
 ④ マスメディアに対する報道の働きかけ
 普及啓発活動内容等の山形市役所市政記者クラブへの情報提供

十月は事業普及啓発促進月間です
 —コロナ禍社会、負けずに事業推進—

女性部会だより

すげ笠講習会

女性部会長 塩野 美智子

山形を代表する花笠まつりの笠を、シルバー女性部で作りました。なんと案内状で呼びかけをしたところ、二十二名の応募者がありました。笠作りも六年目を迎え、後継者育成のため、一人でも多くの方に覚えて欲しいとの思いで講習会を開催しました。参加された皆さんは、手先の器用な方が多く頼もしく思いましたが、初めての笠作りなので思うように作れず苦労していたようでした。猛暑の中、「山形市農業研修センター」で六日間、皆さんが和やかに楽しく製作できたことが何より嬉しく感じました。参加された皆さんからは、「自分の作った笠で踊りたい。両指が痛かったが完成したら忘れるほどうれしく感動した。沢山の陰の支えにより祭りが行われていることを痛感した。」などの感想を寄せていただきました。来年も作りたいと意欲的です。

お陰様で、八月五日の祭当日、きらやかスタジアムにて山形市長他二名の皆様へ花笠の贈呈を行うことが出来ました。市長からは感謝の言葉をいただきました。女性部会員が一丸となり、微力ながら今後とも頑張りたいと思います。十分な配慮で感染を防ぎ無事終了することができ、関係者皆様に御礼申し上げます。



講習会風景



贈呈式

センター活動状況

・**盃山ゲートボール場の除草を行いました**

当センターでは、馬見ヶ崎川河川敷にある盃山ゲートボール場の除草作業を受託しており、一定期間未就業の会員の方から作業していただいています。今年度は小雨の降る中、計三十五名の会員さんが作業に当たりました。

・**衛生委員会を開催しました**

七月二十日、今年度第一回目となる衛生委員会を開催しました。今年度の事故状況や健康診断・ストレスチェックの実施についての報告、新型コロナウイルス感染症・熱中症への注意喚起を行いました。

・**市長・市議会議長へ要請活動を行いました**

全国シルバー人材センター事業協会の総会決議による統一行動として、佐藤孝弘市長と鈴木善太郎山形市議会議長へ要望書を手渡ししました。この度の要望書は、シルバー人材センターに

対する補助金の確保や、公共事業の発注などへの配慮を要請するものです。また、消費税のインボイス制度導入がセンター事業に及ぼす影響の大きさについても説明し、安定的な事業運営が可能な措置についても要望してまいりました。



ゲートボール場除草



要請活動

シルバーに
人あり 技あり
心あり

五輪ボランティアに参加

第七地区

奥山 仁



東京二〇二〇
オリンピックは、
空前のメダルラッシュに沸き、
盛況のうちに終了しました。
サッカー会場の宮城スタジアム
で、大会運営のボランティアに
参加された、奥山さんにお話を
伺いました。

二年前、「退職後、人のため
に役立つ仕事をしたい」との思
いから、東京五輪ボランティア
に応募し採用されました。東日
本大震災や障害者支援ボラン
ティアの経験が、採用に結びつ
いたようです。

期間は七月二十一日～三十一
日、試合開催日の六日間（十三
時～二十二時迄の九時間勤務）。
仕事は、観客の誘導（障害者
を駐車場から場内客席へ案内）、

入場チケットもぎり回収等でし
た。オリンピックという世界レ
ベルのイベントを間近で見、大
会運営に参加できたことは、人
生において大きな宝物になった
とのこと。

宮城会場は、有観客で開催。
観客数は少なかったものの、各
試合とも盛り上がりを見せまし
た。なでしこジャパンチームが、
ロッカールームに残した「有観
客の舞台準備、ありがとう」の
メッセージは、観客や大会関係
者に感動を与えました。

奥山さんの更なるご活躍を期
待しております。

（取材・広報部）



サッカー会場での奥山仁さん

地域紹介 わが街通信

鈴川一地区 荒井司薫

私が住んでいる双月地
区には、スーパーマー
ケットやコンビニがなく、
スーパー貧乏と言う人が
おります。

高齢者の一人及び二人
住まいの住宅が多くなり、
買い物に出掛けるにも、
自家用車あるいは福祉バ
ス等で行かざるを得ませ
ん。一部には、移動販売
車が来ていますが、高齢
者には、とても辛いかと
思われます。

見渡せば、自然に囲ま
れ、四季の移ろいに楽し
んでおられる方、植木や
畑で、自分なりの時を過
ごされている姿を見ると、
のどかであり、美しい所
有り、それぞれに生き
甲斐を感じて生活してい
るんだろうと推察されま
す。

その他、空き家になっ

て、草や雑木が生い茂つ
て、害になる生き物たち
の住み家になっている所
も有り、種々と問題を抱
えている地区ですが、風
光明媚な所で、楽しんで
過ごせる良き所と思っ
ております。



水の中の世界



滝山一地区
垂石 有二

私がアクアリウムを初めて知ったのは、八年前位になるだろうか。

きっかけは新潟のADAの創始者、天野尚さんの動画をユーチューブで見えて、素晴らしさに圧倒され、水槽の中に世界、いや地球がある様で、生物の不思議に魅了されたのを、今でもはっきり思い出されます。

さっそく挑戦し、一週間で水を作り、十四日目で水草と熱帯

魚、定番のグッピーとネオンテトラをそっと「生きてくれ」と念じ、放しました。グッピーの子どもが生まれた時は、感動して長い時間水槽を見つめておりました。

年月が経ちますと、自分の怠け癖も手伝って水換えがおろそかになります。気付けば百匹にもなつて困り果てました。冗談ですが、家族の何ら手伝い、口出ししないという協力のお陰で、何とか自力で続けて来られたと感謝しております。

二、三年前に膝を痛めて仕事から離れた時期がありました。が、



今はシルバー人材センターのすすめで先輩方にお世話になりながら、仕事を頑張っております。なかなか勉強不足で迷惑ばかりですが、早く先輩方に近づける様に努力しているところであります。

今の仕事を通して



鈴川三地区
佐藤 正三

令和二年の四月にシルバー人材センターの会員に入会致しました。

五月から、山形駅東口交通センターで駐車場・駐輪場の管理業務をしております。業務内容は、駐車場と駐輪場を一ヶ月間交互に管理する仕事です。仕事内容は、駐車場が駐車回数券・定期券の販売と駐車料金の精算等、駐輪場が自転車・バイクの一回券・定期券等の手続処理と駐輪料金の精算等です。どちらも細かい作業でお金を

扱う仕事なので、最初のうちは手が思う様に動きませんでした。こんな大変な作業がシルバーの仕事かと思いました。

研修中に先輩から「六ヶ月すると覚えるから」と言われました。最初はこういう事か分かりませんでした。駐輪場と駐車場は各々一ヶ月を三回、計六回・六ヶ月すると覚えるからと言う意味でした。毎日が勉強でした。一ヶ月で覚えたと思うと、また仕事の場所が変わり、忘れてしまう日々でした。

機械操作が分からなくて苦勞致しました。幸いに、私の班は皆さん厳しくもあり、丁寧に教えていただきもし、現在に至っています。

時には、こんな事もありました。朝、駐輪場出入口で交通整理をして自転車の生徒を見送っていると、高校生から「おはようございます」と声をかけられ「いつもありがとうございます。この仕事をやっていてよかった」と返される言葉は嬉しく、



多員の

健康・趣味

日々思う事



千歳地区
齋藤 典昭

シルバー人材センターにお世話になり二年目を迎えました。

六十歳で定年を迎えた後、山形駅西口にある事業所に嘱託として三年間お世話になり、その後、シルバー人材センターを紹介して東口交通センターに勤めて現在に至っております。

第二、第三の職場が山形駅の西口、東口と山形の玄関口ともいえる職場で働けることに感謝しています。

私には特に、趣味と言えるものがありません。現役の時は、退職後にやりたい事をいろいろ思い描いておりましたが、未だに実行できていないのが現実です。そんな中、昨年の春頃にホームセンターを覗いた時、いつもは見過ごしてしまいう野菜の苗が目にとまりました。いつしか、キュウリ、ピーマン、ナス、ミニトマト、ゴーヤ等々約十種類程の苗を初めて次々と購入し、育てていました。キュウリとミニトマト以外は不作でしたが、それぞれの成長を楽しむ事が出来ました。今年は、昨年以上の収穫を目指したいと思います。

最後に、山形駅前に早く以前の活気が戻り、昼夜共に賑わいのある街になることを願いながら、東口交通センターの日々の業務に取り組んでいきたいと思っています。



ときめきは若さ



第二地区
居鶴 弥太郎

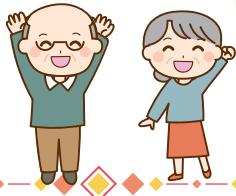
子ども達が育てたドングリの植栽願いに、秋田の東北森林管理署を何人かで訪れた事がある。白神が世界遺産に決まった翌年で、担当の課長と補佐が待つていてくれた。帰り際に、質問した。「日本最大の朝日飯豊両連峰のブナの原生林こそ、総面積も白神より二倍以上で、レベルもかなり上だと思うのですが。」思わず両者は顔を笑顔で見合わせ、「もちろんです。私たちが一番よく知っています。なぜ、そうお思いに……。」「職業柄、何十年と両連峰に入れば入るほどに凄いと。」「秋田の後に、当然山形さん中心に新潟福島三県合同で来るかと、資料を揃え待ってたんですが。貴方は、その件を山形で初めて口にされた方です。」絶句した。隣県に先越されたからではない。私も含

め、山形県の郷土の認識度の無知ぶりにだ。無知から白神以上の郷土が浮上するように、衝撃と真実は常に表裏一体で、不思議な運命性を秘める。

晩年熟成の想いも同じだ。経験と追憶の楽しみも晩年もいい。ただ、終生でも人間の脳は一割程度の利活用が本当ならば、無知と絶句は無限ののりしろの一点であっても、私にはとても尊い。いつも新鮮な心と、ときめきを忘れぬ自分でありたい。



を訪ねて



本木康晴・神保源太郎

高橋正太郎

山形市野草園植物等管理業務

オミナエシヤヒ オウギの咲く八月 中旬、山形市野草園を訪問しました。ここには、シルバ―の仲間が常時二〜三名のシフトで勤務しており、この日も三十度を超える暑さの中、全身汗だくで除草作業に精を出しておられました。コロナ禍で野草園の様々な事業等が中止になったものの、三密を回避しやすい野外施設という点もあり、来園者はむしろ多くなったということです。

来場者の方に快適に、美しい草花や樹木や昆虫などをご覧いただくために、天候の善し悪しにかかわらず毎日業務に当たっておられました。

三月から雪囲い外し、木道の整備、除草、古木や枝折れの樹木や外来帰化植物の処理、保護植物の植栽、水やりなどが業務内容です。毎日朝夕には園全体の巡回を行い、貴重な植物や樹木の特徴を把握した処置をして、生育環境を整えてくださっています。

今年は、雨合羽を着ての作業が多くご苦労もひとしおの様子でした。熱中症予防、救急蘇生法や刈払講習等を通じた研修に加え、経験者や仲間同士での打ち合わせや学び合いにより事故防止に努めておられました。

特に感心したのは、樹木植栽に関わる様々な技能を、剪定の方法、なわの結び方一つから互いに教え合って業務に当たっておられる姿です。和気あいあいとして相互扶助の暖かさとおプロとしての意識の高さに満ちてお

りました。

シルバー会員の皆様や野草園関係者の努力の甲斐あって、蔵王でマーキングされた渡りをする蝶「アサギマダラ」が、令和二年十月に、二千三百km近く離れた台湾で再捕獲されたニュースは皆、拍手喝采だったとのことです。快適な環境は、全ての動植物にとって必要不可欠なのです。

十月からは、通常の管理業務に加えて「雪囲いの作業」が始まるそうです。くれぐれも安全にご留意いただき、快適で美しい野草園の維持管理のため、益々お力添えいただければ幸いです。

皆さんも素敵な山形市野草園に足を運んでみてはいかがでしょうかでしょう。

(取材・広報部)



アサギマダラと藤袴



本木さん、高橋さん、神保さん

就業会員



山口 喜苗 一般社団法人日本健康管理協会 山形健康管理センター

山形市松町の当施設は、協会けんぽによる助成制度、労働安全衛生法による健康診断と人間ドックを行って頂きます。最新の設備を備えた二階建ての近代的な施設で、今年の六月から新たに就業を開始しました。

清掃業務に従事する会員は、山口喜苗さん他男性三人、女性八人を二班編成（男性二人女性四人を一班）にして週三日の就業です。就業時間は、午後三時から午後五時三十分まで

の二時間で終了することになっています。

業務内容は、床清掃、ごみ回収、トイレ清掃、お客様用ロッカー清掃、消耗品補充などです。床面積が広く、検診用ルームが多く複雑なため、女性用検診ルームは女性会員が担当してチェックリストを基準に、チームワークで要領よく作業しないと時間内に終了できないので気を付けています。

また、トイレの使用頻度が多いので清掃が特に大変ですが、利用者が気持ちよく受診できるように、事務所からの指示を守って作業を行っています。

今年、コロナワクチン接種のため、就業のローテーションも苦労しましたが、全員終了して安堵しているとのことでした。

（取材・広報部）



新入会員紹介

| | | | |
|-------|---------|----------|-------|
| 第一地区 | 井出 邦子 | 東沢地区 | 鈴木 公 |
| 第二地区 | 荒井 公 | 阿部登美子 | |
| 第三地区 | 豊田 孝子 | 成澤 忠義 | |
| 第四地区 | 山口 昭義 | 出羽・明治地区 | 細谷 幸雄 |
| 第五地区 | 京野 一枝 | 金井地区 | 小林 清子 |
| 第六地区 | 若林 静男 | 蔵王地区 | 井上 久司 |
| 第七地区 | 鹿野 裕司 | 湯口 宗則 | 郁子 |
| 第八地区 | 伊藤 正 | 南山形・本沢地区 | 石川 輝子 |
| 第九地区 | 中里 研二 | 斎藤 京子 | |
| 第十地区 | 清藤美代子 | 竹田 妙子 | |
| 第十一地区 | 永野 順子 | 佐藤ふみ子 | |
| 第十二地区 | 大場 節子 | 南沼原地区 | 渡邊 恭孝 |
| 第十三地区 | 安藤 利明 | 山根 敏明 | |
| 第十四地区 | 尾関 實 | 丹治 紀芳 | |
| 第十五地区 | 川合 研治 | 新関幸四郎 | |
| 第十六地区 | 布施 恵子 | 大沼真喜子 | |
| 第十七地区 | 伊澤 正勝 | | |
| 第十八地区 | 飯塚・榎沢地区 | | |
| 第十九地区 | 林 保信 | | |

事務局だより

(協)山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番三号
電話(0)23(6)47(6)47

URL: <http://web.sjc.ne.jp/yamagata>
E-mail: yamagata@sjc.ne.jp

配分金振込を山形銀行へ

指定している会員の皆様へ

—十月から振込時の摘要

記載が変更になります—

システムの變更に伴い、配分金振込時の通帳への摘要記載が変更になります。

令和三年九月振込（八月就業分）まで

「ヤマガタシルバージンサ」

令和三年十月振込（九月就業分）から

「キユウヨ」

文言は変更されても、お支払いする配分金の内容税務上は雑所得に変更はありません。

通帳記帳の際は、右記の内容へ変更になることをご確認ください。

なお、さらやか銀行・ゆうちょ銀行への振込については、摘要記載に変更はありません。

お知らせとお願い



配分金支払日

十月二十日(水)

十一月十九日(金)

十二月二十日(月)

入会説明会(午後二時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いします。

十月一日(金)五日(火)

十二日(火)

十一月二日(火)十六日(火)

二十二日(月)

十二月二日(木)九日(木)

十六日(木)

就業相談日(午後一時三十分)

(就業に関しての相談です)

十月十三日(水)

十一月十日(水)

十二月八日(水)

※就業相談の受付は午後一時十五分からです。
予約等はできませんので
FAX承べたやう。

地域の総合健診は

必ず受けよう!

健康でなければ良い仕事はできません。各地区の総合健診を受診して、健康管理に努めましょう。

センター緊急連絡先

〇九〇・六二五五・五三〇二

土日・祝日に事故等が発生した場合の緊急連絡先です。

また、会員証と一緒にお渡しする緊急連絡カードは、就業の際必ず携帯するようお願いします。

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

鈴木三地区

安田 林作さん(七十三歳)

第八地区

丸山美枝子さん(六十三歳)

あとかぎ

異例に迷走した東京オリンピック・パラリンピック大会も閉幕して、アスリート達の熱戦と競技終了時には、勝敗に関係なくお互いの健闘を称えあう姿は、私達に希望と勇気と多くの感動を与えてくれました。また、このオリンピック大会でボランティア活動された会員の奥山 仁(第七地区)さんを取材し、応募の動機や感想を人・技・心のコーナーで特集記事にしました。数多くの体験をされ、今後の益々の活躍を期待しております。

十月は普及啓発促進月間です。コロナ禍にて多くの活動は自粛中ですが、一・一(イチイチ)運動は継続中です。会員募集にご協力をください。また、二年ぶりに開催として文化祭も企画しており、出展者会員の力作を是非ご覧ください。(S・H)